

夜間制進路だより No. 4

2023. 9. 13

夜間制進路指導部

☆マナーアップ講演会について～9月5日～☆



9月5日（火）14時から16時30分まで、株式会社ジンジブの梅原先生と鶴岡先生を講師として本校に招き、夜間制生徒に対して、マナーアップ講演会を行っていただきました。茨城県立高等学校等チャレンジ・プロジェクトとして、夜間制では今年度初の試みでした。マナーとありますが、内容は、コミュニケーション能力の向上及び「働く」を考えながら人生にとって大切なことなどで、生徒の皆さんそれぞれ様々なことを吸収し、最高の時間だったことと思います。実際、実施後のアンケートでは、満足度100%でした。

以下、参加生徒の振り返りシートの内容です。

（1）「自己理解 褒めニケーション」について

自分の知らないいい所が知れて良かった。友達に褒められて嬉しかった。自分には無い考え方を知れた。自分の強みを人から聞ける貴重な体験ができた。自分にとって当たり前のことも客観的に見たら長所であることがわかった。自信が持てるようになった。

（2）講演会『「働く」を考える』について

働く目的にもいろいろあることが知れた。ネガティブな言葉にもそれぞれ良さがあることがわかった。社会にでて役に立つ考え方を知れて勉強になった。失敗することについて180°違った答えや説明が返ってきて良かった。自分の考えをさらに固める機会になってよかった。将来、何のためにどう働くかについて考えられて良かった。失敗や勇気について考えが深まった。失敗についてプラスな捉え方ができるようになった。

（3）わかった、なるほど！と思ったことは何ですか？

人は何のために働くかで何かが変わるとわかった。感謝の量＝給料と聞いてなるほど！となりました。素直に言われてたことを聞き入れこれからの人生にプラスしていこうと思った。失敗することが悪いことだけじゃ無いことがわかった。勇気をだすということがわかった。心のコップを空っぽにして新しいことを学ぶことがわかった。働くとき、失敗を恐れて何もしないのではなく勇気を出して行動することがわかった。お金のためだけでは無く、感謝されるために働くことで人生が豊かになるのだとわかった。失敗から勇気を育てるという考え方を理解した。

（4）進路に向けて生かそうと思ったことは何ですか？

就職面接の時、長所を自信をもって答えようと思った。失敗を恐れずにいろいろなことに挑戦していこうと思った。恐れることはいけないことだと思っていただけに必要なことであることも知った。自分の好きな仕事が探せたらいいなと思った。自分のコップを空にしてたくさん学びます。勇気を出して行動すること、失敗してもそれを次に生かすという考え。失敗してもよいことを忘れないようにしたい。

『絶対失敗しない方法は、何もしないこと。けど、この先50年の人生を失敗しないことを目的に生きるとしたら、人生の最後に「充実した人生だった」と思えるだろうか。』（鶴岡靖晃先生の言葉）